



みんな なかよく げんきに のびよう

三つの宝 「㊟つくしまわりを ㊟がおてあいさつを ㊟ちんとくつならべ」

令和6年度 第9号
熊本市立植木小学校
令和6年5月14日
校長 東田 昌樹

運動会の練習だけでなく、授業も充実しています。

5月25日(土)が「運動会」です。あと10日ほどで運動会です。13日(月)の2校時には「全体練習」で開会式の練習をしました。

しかし、植木小学校は「運動会一色」というわけではありません。

14日(火)は朝から運動会の「結団式」をしました。昼休みには応援団の子どもたちが集まり、応援の練習をしています。

しかし、一方で1年生は国語の授業で、音読や書く作業をしっかりと学習しています。2年生、3年生は生活科や総合の学習で、校外学習に出かけました。4年生も5年生も6年生もどの学年も、国語、算数、理科、社会等の学習に意欲的に取り組んでいます。そうじも、ボランティアもしっかり取り組んでいます。

子どもたちに配ってある週の時間割表を見ればわかりますが、体育の時間は多くても1日に1時間です。体育がない日もあります。子どもたちは一日を体育服だけで過ごすことはありません。体育の時間の前に体育服に着替え、体育が終わると標準服に着替えています。

開会式や閉会式の練習をする「全体練習」の時間も、3回しかありません。運動会前だからと言って、体育の時間だけに力を入れる子どもたちではありません。どの教科等の学習にも、しっかりと取り組むことができる植木っ子たちです。

1日に1時間の体育の授業で運動会を迎えることができるのは、コロナ禍をきっかけに運動会が午前中になったことが大きいです。入場行進がなく開会式や閉会式をできるだけ短い時間で行っています。競技もコロナ禍の時よりも増やしましたが、午前中で終われる内容になっています。

毎日2時間も3時間も体育の授業をすることの弊害は大きいです。運動が好きな子どもはいいですが、運動があまり好きではない子どもたちにとって、苦痛です。学校自体が嫌になりかねません。まだ暑さに慣れていないこの時期は、熱中症の心配もあります。

せっかくの運動会です。運動会をすることに意味を持たせるようにしています。たとえば、1年生の「玉入れ」、3年生の「大玉ごろがし」、5年生の「台風の目」や、3、4、5、6年生の全員リレーは、チームワークが大事になります。走る力や投げる力も大事ですが、それ以上に仲間と協力することが大事です。

リレーはバトンパスがうまくいくかどうかで、結果が全然違ってきます。「玉入れ」も「大玉転がし」も「台風の目」も、最初は全然大丈夫いきっていません。これから子どもたちがどのように成長するか楽しみです。

2、4、6年生のダンスや表現も、全くできていない状態からスタートしています。(1年生も少し踊ります。)現在、少しずつ振り付けを覚えているところです。

運動会を通して、子どもたちが成長する。

これが運動会の目的です。先生たちも、子どもたちにやらせるだけの練習ではなく、子どもたちが自ら考えて練習するように持っていきます。保護者の皆様には、運動会当日しか子どもたちの姿をお見せできないのが残念です。本当は今のうまいっていい姿も見せたいです。



【本校の教育目標】

気づき・考え・行動する自立と共生の力を備えた子どもの育成
～ どの子ども大切にされ、どの子ども成長する学校をめざして ～

